

遠野西中学校 「銀河ドリーム教室」の 支援から見えた“成果”と“課題”



遠野西中学校区 エリアコーディネーター 浅沼 幸孝

「銀河ドリーム教室」とは

【ねらい】

様々な分野で活躍する地域の方々と交流し、
生き方を学ぶ、郷土を愛する心を育てること。

【概要】

- 地域で活躍している方に講師になっていただく。
- 同じ日に学校に来てもらい、生徒は、希望する1人の方の講演を聴くもの。

令和4年度「銀河ドリーム教室」

令和4年9月2日
遠野西中学校で開催

コース番号	講座名	講師
A	馬の里遠野	菊池 政光 氏 (装蹄師)
B	なんのために生きるか	多田 貴博 氏 (多田農産代表)
C	原木乾燥椎茸と林業	菊池 秀明 氏 (原木椎茸栽培)
D	出会い	菊池 貴子 氏 (エレクトーン講師)
E	夢のある一集落一農場の実現を目指して	菊池 文彦 氏 (宮守川上流生産組合事務局長)

コーディネーターへ依頼があったこと

学校訪問において、副校長から

例年開催している銀河ドリーム教室を
今年度も実施します。

講師としてお願いできる
地域の方を探してほしいのですが…

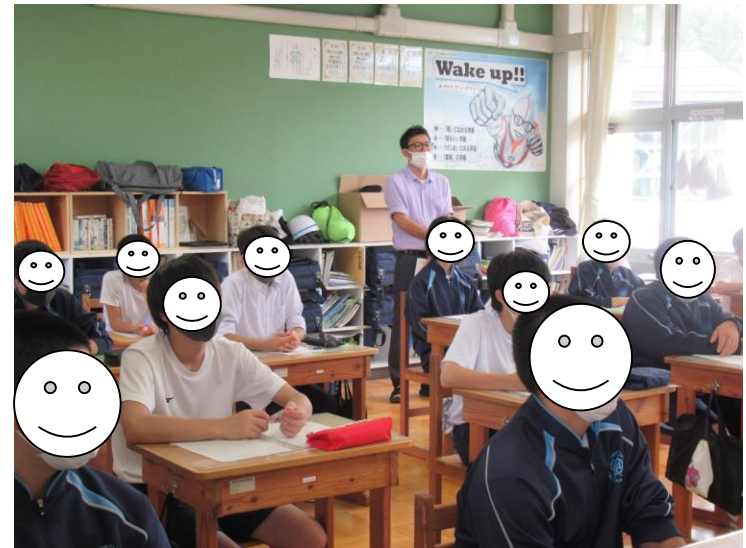
生徒の人生の転機になるかもしれない

この取組の支援で意識したこと

- 学校（担当する先生）が、考えていることやねらいとして「**どういうもの**」なのかを「**まちがわ**ないようにつかむ」「**確実に把握**する」こと。
 - 数年で異動を余儀なくされる先生方は、地域のことを深く知ろうとしても難しい。

- **地域の人を探すとき**
 - ・ 子どもを引き付けることができる人
 - ・ 子どもたちの心を動かせる人
 - 派手さや知名度だけで決めるようなことはしない
信頼があり、人望がある人

多田さんの講演の様子



生徒の感想から

- 生き方について理解を深めることができた。
- 生きる意味、働く意味を知ることができた。



素晴らしく、
見事な感想が
たくさん

銀河ドリーム教室のねらいである「地域の方々から人生観・職業観・生き方を学ぶ」ことが、生徒たちに深く根付き、浸透したと感じた。

“つなぎ役”として動いたことによる“成果”

- 生徒が地域の方の話を聞いて、これからの人生に向けて気づいたり、考えるきっかけになったと思われること。
- 地域の人材を探したり、つないだことが、時間的にも余裕がなく、地域のことをよく分からない先生方の負担軽減につながったと思われること。

課題 (あえて挙げるとすれば…)

先生からお話があったとき、
「時間的に余裕がない」と感じた。



- 相手の都合に左右されること、まずは断られることから始まることをイメージして動いている。
 - 話をすることに「早すぎる」ということはない。
早い段階で話すことが、結果的に、
的を外さない・失敗しないことにつながる。

ご清聴、ありがとうございました。